

～沼津版スマートシティの実現に向けて～  
第2回 X-Tech NUMAZU シンポジウムの開催

要 旨

まちづくりに ICT 等の先端技術を活用した「沼津版スマートシティ」の実現に向けて、市民や事業者の皆さんと一緒に「X-Tech NUMAZU」（沼津版スマートシティの実現を目指すプロジェクトの名称）に取り組んでいくために、今年度もシンポジウムを開催します。

概 要

- 1 日 時 令和5年3月26日(日) ①13時～16時 ②12時～16時
- 2 場 所 キラメッセぬまづ 多目的ホール1
- 3 主 催 X-Tech NUMAZU協議会(事務局:沼津市企画部政策企画課)  
【協議会構成員】(50音順・敬称略)  
株式会社IHI、富士通Japan株式会社、株式会社明電舎、沼津市  
アドバイザー:東京大学先端科学技術研究センター特任准教授 吉村有司
- 4 内 容 ① スマートシティに関する基調講演、パネルディスカッション  
観覧席の定員は、当日先着順で200人程度です。(報道席は別途ご用意)  
② 体験ブース(電動キックボード、ドローン操縦、メタバース等)  
協議会の専門部会ごとに体験型のブースを出展します。
- 5 講 師 ・ 京都大学人と社会の未来研究院教授 内田由紀子さん  
・ 東京大学先端科学技術研究センター教授 小泉秀樹さん  
・ 東京大学先端科学技術研究センター特任准教授 吉村有司さん
- 6 その他 「アーバンサイエンスの可能性:都市の科学と技術の現在地」の開催  
シンポジウムと連携して、東京大学先端科学技術研究センター共創まちづくり分野主催の展覧会が開催されます。  
日時:3月25・26日11時～17時 場所:キラメッセぬまづ市民サロン

お問い合わせ先

沼津市役所 企画部 政策企画課  
直通:055-934-4704

# X-Tech NUMAZU SYMPOSIUM

2023

3.26



@Plaza Verde (Kiramesse Numazu) Exhibition Hall 1



*Walkable & Well-being*

## クロステックヌマツシンポジウム

【日時】2023年3月26日(日) ①13時～16時 ②12時～16時

【会場】プラサヴェルデ (キラメッセぬまづ) 多目的ホール1

【内容】①基調講演、パネルディスカッション ※定員200人程度 (当日先着順)  
②体験ブース (電動キックボード、ドローン操縦、メタバース等)

【講師】内田 由紀子 (京都大学人と社会の未来研究院教授)

小泉 秀樹 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

吉村 有司 (東京大学先端科学技術研究センター特任准教授)

UCHIDA Yukiko

KOIZUMI  
Hideki

YOSHIMURA  
Yuji



# The Potential of Urban Sciences

: current situation of urban science and technology

& Urban Sciences Hackathon in NUMAZU

アーバン・サイエンスの可能性

.. 都市の科学と技術の現在地

& アーバンサイエンス・ハッカソン in 沼津

場所：プラサヴェルデ

(キラメッセぬまづ) 1階 市民サロン

〒410-0801 静岡県沼津市大手町1丁目1-4

日時：2023年3月25日〈土〉・26日〈日〉

11:00-17:00 入場無料

[アーバンサイエンス・ハッカソン]

3月25日〈土〉13:00 開始

ウェブサイトにて詳細スケジュールをご確認ください。 <https://walkable-lab.com/>

主催：Urban Sciences LAB. (東京大学先端科学技術研究センター 共創まちづくり分野)

後援：沼津市

# The Potential of Urban Sciences

: current situation of urban science and technology

## アーバン・サイエンスの可能性 .. 都市の科学と技術の現在地

テクノロジーの発展と日常生活への浸透は、都市空間におけるわれわれの諸活動をいまだかつてない粒度で収集することを可能にしつつある。

これまでは建築家やプランナーが頭のなかで想像するしかなかった人々の振る舞いが、ビッグデータとして解析され、人の目や手だけに頼ってでは絶対に不可能だった「データを用いた建築、都市計画、まちづくり」が始まろうとしている。

本展覧会では我々が取り組んでいるプロジェクトの紹介をとおして、都市を「科学」という視点から眺めてみる。

Urban Sciencesという新しい領域の可能性を感じてもらいたい。

The development of technology coupled with its penetration into our daily lives is making it possible for us to collect concentrations of intricate levels of data based on various activities in urban spaces at unprecedented levels.

Once thought of as only imaginable to planners and architects, and unachievable by hands and the eyes alone, data based versions of planning and architecture are now beginning to emerge.

In this exhibition, we will look at the city from the perspective of “science” via introducing projects that we are grappling with in a hope that participants will mutually feel the potential of a new field called ‘Urban Sciences.’

主催: Walkable Lab (東京大学先端技術研究センター 共創まちづくり分野)

コンセプト: 吉村有司

展覧会ディレクター・キュレーター: 宮園侑門

会場デザイン・設営: 森屋友佑

グラフィックデザイン: 泉美菜子 (PINHOLE)

デジタルコンテンツ設計: 大山貴史

協力: ORPHE Inc. / 株式会社明電舎

千葉大学予防医学センター健康都市・空間デザインラボ

パナソニック サイクルテック株式会社

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

※展示内容は予告なく変更する可能性があります。

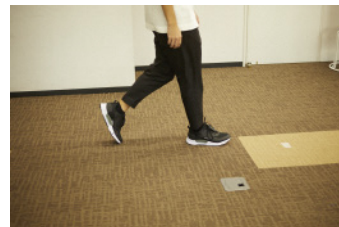
プラサヴェルデ(キラメッセぬまづ)1階 市民サロン

〒410-0801 静岡県沼津市大手町1丁目1-4

(JR沼津駅北口より徒歩3分)



『都市OSとしてのウォークアブル空間: バルセロナ  
Walkable spaces as Urban OS: Barcelona』  
模型 (2022)

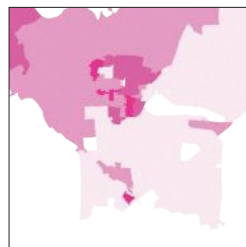


『歩容データからみる歴史的市街地の都市体験: 中宇治  
Analysis of the historical urban area of Uji using footfall data』  
大山 貴史  
プロジェクションマッピング、模型  
撮影: 高橋哲也、宮園侑門  
機材協力: ORPHE Inc.  
(2022)

『機械学習によるまちなかの緑視率抽出: 中宇治  
Extraction of Green View Index of the historical urban area of Uji by deep learning』  
大山 貴史  
プロジェクションマッピング、模型  
撮影: 高橋哲也、宮園侑門  
(2022)



Photograph: 浜田昌樹



『幸せアンケートからみる都市のウェルビーイング: 善光寺門前  
Well-being from the Happiness Questionnaire: Zenkoji』  
大山貴史、菊地穂澄  
プロジェクションマッピング、模型  
撮影: 高橋哲也、宮園侑門  
(2022)

## ACCESS

